



アイヌ文化のことをもっとも話したい!  
本田優子と村木美幸の二人が、その魅力を交代で  
執筆するソノコ(=お便り)形式のエッセイです。



今月のテーマ

## シリシモイエ(地震)

本田優子(札幌大学教授)



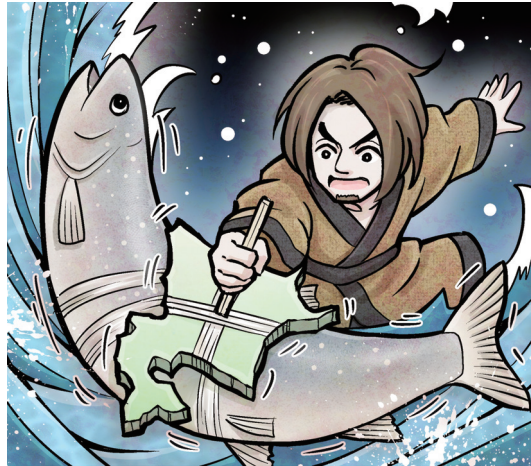
二 十年ほど前のこと、居酒屋で友人たちと飲ん  
でいたら突然グラグラッーシリシモイエ(シリ

シ大地、シモイエ動く)ー即座に一人のアイヌの男性  
が太い声で「エイッケウエコッケー」と言いながら、持っ  
ていたお箸をテーブルに突き立てたの。アイヌ社会に  
伝わるおまじないの一種で「エイッケウエーお前の腰、  
コッケー私は突く」という意味

です。地震は地面の下の何者か  
が動くから起きるので、動けな  
くするために「お前の腰」を突  
くのだそう。他にもいろいろ  
なパターンがあり、「エイッケ  
ウエクラリ ナ(お前の腰を押  
さえたぞ)」と言いながら囲炉  
裏の隅の灰に火箸や小刀を突  
き立てるとか、杵を持って外に  
出て地面を突いたりしたそう  
です。

では、いったい何者が? 真っ

先に頭に浮かぶのはナマスですよ。でもアイヌ社会  
では、もっぱらアメマスが暴れるから地震が起きると  
考えられていたみたい。アメマスはアイヌ語ではトゥ  
クシッって言います。そもそも地面の下にアメマスがい  
ること自体不思議だけど、日高地方の伝説によれば、  
大昔、国造りの神が大地をつくる時に、泥の海の固い



イラスト/ 荘田悠人

ところだと思つて島をつくらたら、実は大きなアメリ  
カの背中。うっかり眠っているうちに大きな島を背負  
わされたアメマスは、怒つて大暴れして地震を起こす  
んです。同じように屈斜路湖や支笏湖に住んでる  
大アメマスが地震を起こすという言い伝えも残ってい  
ます。カジカやアカエイの大暴れ説もあるけど、多く  
は巨大アメマスが原因だと考

えられていたみたいです。

でも、どうしてアメマスなの  
かしら? 実はアメマスって、イワ  
ナが海や湖に降りて大きく成  
長したものでってこと、ご存知  
ですか? 厳しい生存競争の中、  
強いイワナは生まれた川で  
悠々と生きていけるけど、弱小  
イワナはなかなかエサにありつ  
けず、泣く泣く(?) 故郷を離  
れて湖や海へ降りるのです。で、  
放浪の旅を続けるうち、元のイ

ワナの何倍もの大きさになって故郷に戻ってくるんで  
す。小さなものが苦勞を重ね、やがては強大な存  
在に成長するってストーリー、なんだか心惹かれま  
す。ひょっとしたら大海原で自由を知ったアメマスだ  
からこそ、束縛から逃れたくて、もがき暴れるのかし  
ら...なんてね。



今回のテーマは  
「フッチイキリ・エカシイキリ(家系)」  
村木美幸(アイヌ民族文化財団常勤理事)  
が担当します。



### ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

北海道白老町にOPEN



ウポポイPRキャラクター  
「トゥレップン」

- 本田優子(ほんだゆうこ):金沢市生まれ。札幌大学教授。北大卒業後11年間平取町二風谷に住み、アイヌ語講師を務める。
- 村木美幸(むらきみゆき):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団常勤理事。先住民族アイヌの一員として文化継承活動に努める。
- 荘田悠人(しょうたゆうと):平取町二風谷生まれ。漫画家兼イラストレーター。幼い頃のアイヌ文化が原風景。東京在住。



イランカラブテ  
「こんには」からはじめる。